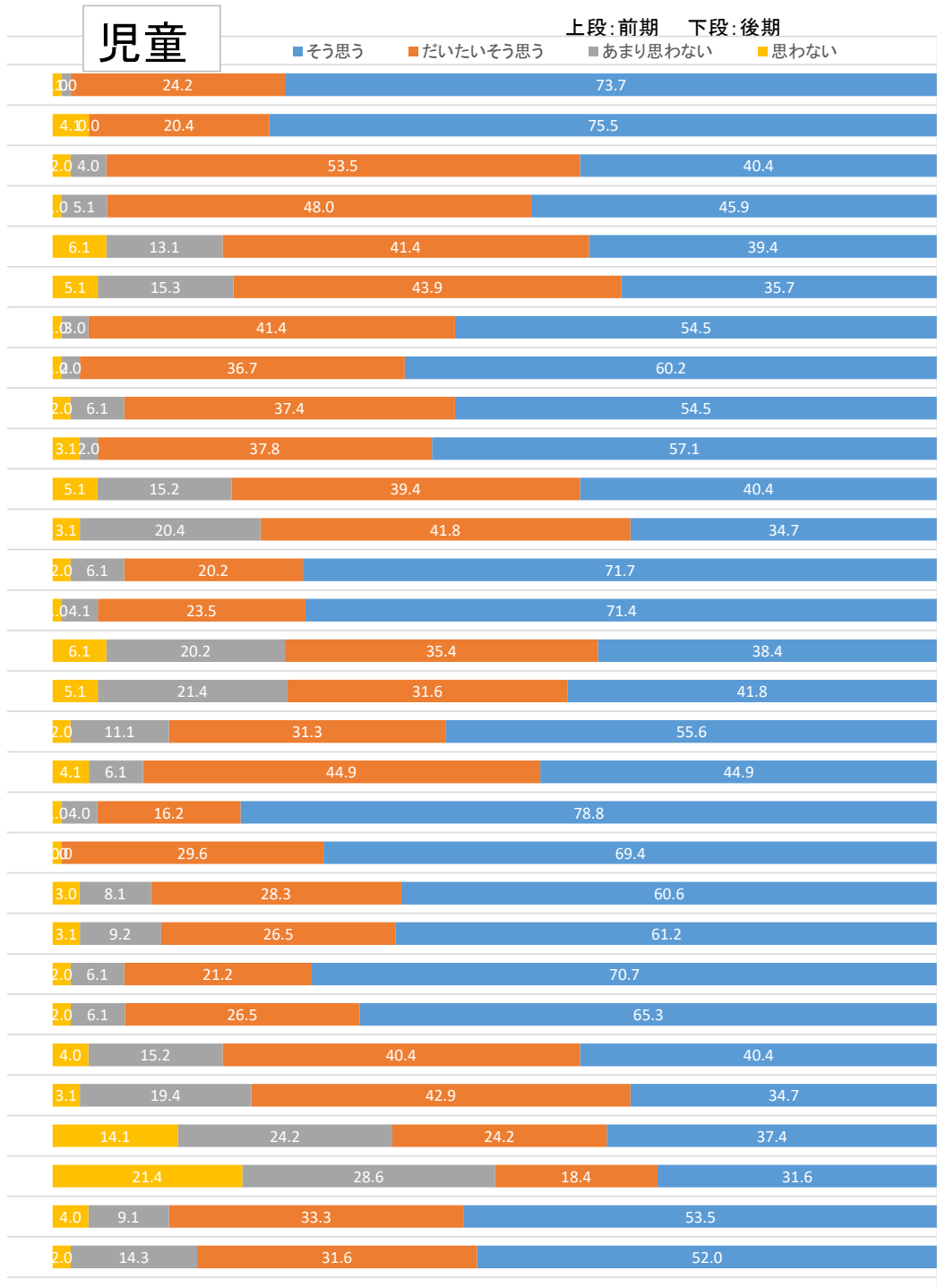
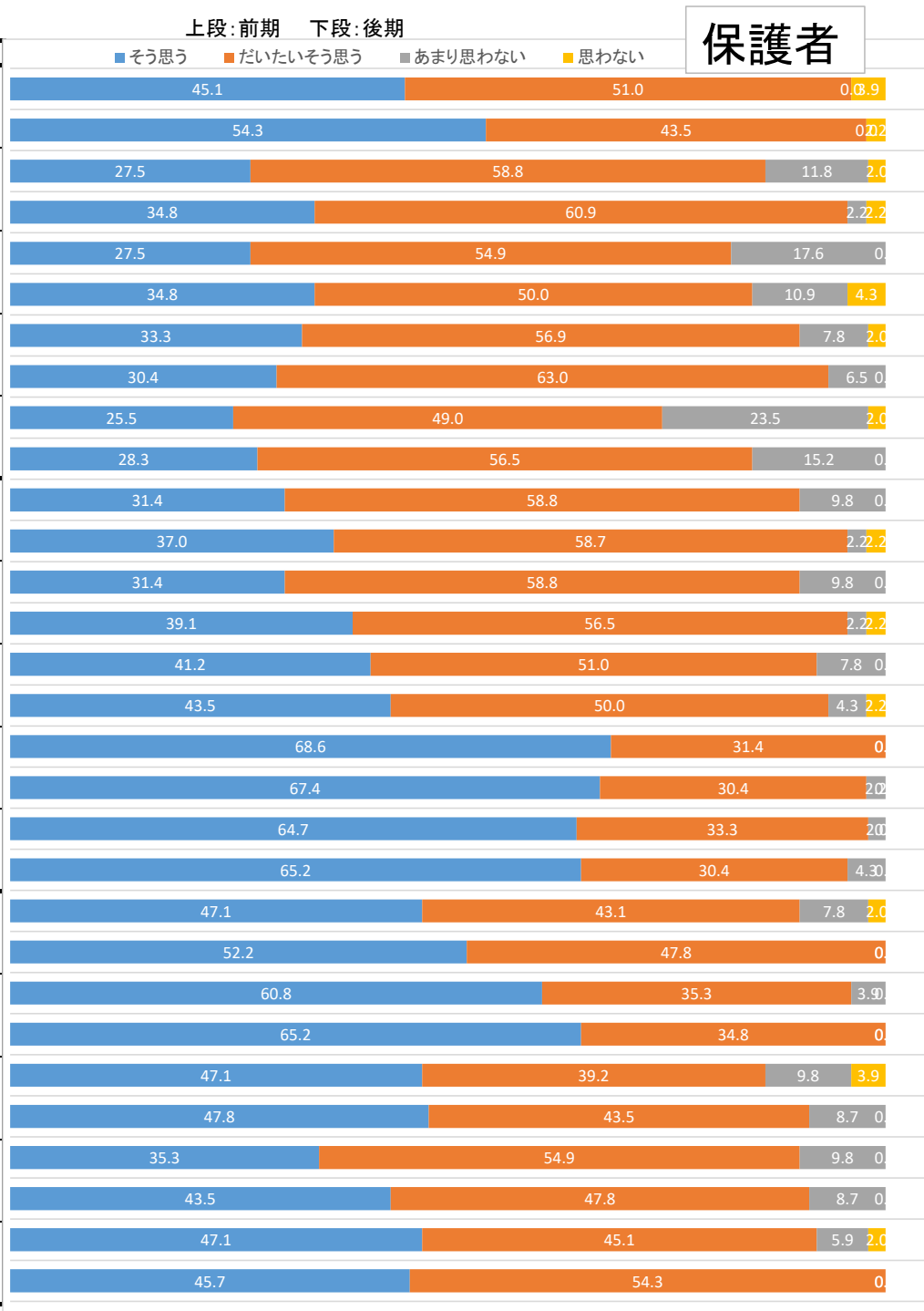


令和6年度（前期・後期） 学校評価アンケート結果

小野部田小学校



評 価 項 目		評 価 項 目
友だちと仲良く生活し、学校生活を楽しんでいる。	子 ど も	子どもは、友だちと仲良く生活し、学校生活を楽しんでいる。
学校の授業はよく分かる。		子どもは、「授業が分かりやすい」と言っている。
毎日決めた時間に家庭学習をしている。		子どもは、「家庭学習の習慣」が定着している。
きまりやマナー（挨拶等を含む）を守って生活している。		子どもは、きまりやマナー（挨拶等を含む）を守って生活している。
苦手なことにも粘り強く頑張っている。		子どもは、苦手なことにも粘り強く頑張ることができる。
分からないときは、先生に質問している。	学 校	学校は、「分かりやすい授業づくり」に努めている。
先生は、いいところを見つけ、ほめてくださる。		学校は、子どもの良さを見つけ、理解しようと努めている。
困ったときは、先生に相談している。		学校は、保護者の相談に丁寧に応え、相談しやすい。
教室やろうか、花壇をいつもきれいにしている。		学校は、施設や花壇等が管理され、美しい環境作りに努めている。
先生は、ていねいな言葉で話される。		教職員の服装や言動・電話対応は、適切である。
家の人から家庭学習にきちんと取り組むよう言われている。	家 庭	家庭では、家庭学習にきちんと取り組むよう声かけを行っている。
家の人とあいさつする。		家庭では、子どもとの挨拶を欠かさず、会話を心掛けている。
早寝、早起き、朝ご飯を毎日欠かさない		家庭では、基本的生活習慣の定着に努めている。（早寝・早起き・朝ご飯等）
家の人と、いじめや差別について話すことがある。		家庭では、いじめや差別について話題にし、豊かな心の育成に努めている。
家の人と、ルールを守ることの大切さについて話している。		家庭では、ルールを守るなど、規範意識の育成を心がけている。



【 アンケート結果について 】

○年間を通じて児童・保護者双方のアンケート結果で、「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせた割合が8割を超える項目が多く(児童15項目中10項目、保護者15項目中14項目)、全体的に高い評価をとなっている。また、後期では、児童アンケートで5項目、保護者アンケートで13項目が前期より評価が向上した。特に年間通して、児童・保護者ともに「学校が楽しい」「学校の授業はよく分かる」について「そう思う」「だいたいそう思う」と答えた割合が90%を超えたことは非常に評価できることである。

○児童アンケートで前期より評価が向上した5項目の中で「苦手なことにも粘り強く頑張っている」「先生は、いいところを見つけ、ほめてくださる」は3%向上し、約95%と高い評価となった。反面、「分からないときは、先生に質問している」「早寝、早起き、朝ご飯を毎日欠かさない」「家の人と、いじめや差別について話すことがある」「家の人と、ルールを守ることの大切さについて話している」の4項目では前期より3%以上落ちた。同じ4項目を保護者で見ると、全て向上しており、児童と保護者間で大きな開きが見られた。引き続き保護者と連携を図りながら、先生や保護者に相談できる児童を育てていく必要がある。

○「教室やろうか、花壇をいつもきれいにしている」「先生はていねいな言葉で話される」での児童の評価は前期よりも3%程度向上している。(保護者は2%程度落ちた)引き続き学校環境や教職員の言語環境を整えていきたい。

○児童・保護者ともに、いくつかの質問項目において「思わない」との回答があった。後期増えた項目もあるので、本校の課題として真摯に受け止め、今後も粘り強く改善に取り組んでいきたい。